

報道関係者各位

## 《映画の里親》第4回作品 お披露目上映のお知らせ



## 幻の日本映画『霧隠才蔵』復元版が 韓国で上映されます！

第一回ソウル・チュンムロ国際映画祭（CHIFFS）が復元資金提供  
無声映画伴奏者・柳下美恵と活弁士・坂本頼光が海外で共演

### ● テーマは映画の発掘、復元、創造 - アジアでこれまでにない国際映画祭の誕生

飛ぶ鳥を落とす勢いの韓国映画界において、映画の「過去」にスポットを当てる映画祭が幕を開けます（会期：2007年10月25日～11月2日）。「韓国映画」の代名詞ともなっているソウルの繁華街チュンムロ（忠武路）の5つの劇場で、32カ国の約150作品が上映されます。

NPO法人映画保存協会はこの映画祭の資金提供を受け、1930年12月に伴野商店が家庭用に再編集して販売した9.5mmフィルムから、本年新たに第4回映画の里親作品『霧隠才蔵 [パテベビー版]』（監督、制作年等不詳、上映時間：3分）を復元しました。

映画祭には日本を代表する無声映画伴奏者・柳下美恵と、『霧隠才蔵』の発見者でもある若き活弁士・坂本頼光が招待されています。活弁とピアノの生演奏付で上映される映画の里親作品、果たして熱狂的な韓国の映画ファンの反応は如何に！？ どうぞご注目ください。

\* CHIFFSには無声映画対応の映写設備がないため、DVD上映になります。

無声映画伴奏者 柳下美恵 <http://www.ltokyo.com/yanasita/miespick.html>  
活弁士 坂本頼光 <http://blogs.yahoo.co.jp/qfdsj940>  
ソウル・チュンムロ国際映画祭 <http://www.chiffs.kr>（韓国語／英語）

『霧隠才蔵』のコマ抜き画像各種（JPG, 720×480, 24KB）及び映画の里親PR用映像（DVD, 4分）をご用意しております。ご希望の方は送付先をお知らせください。

[本件に関するお問合せ先]



NPO法人映画保存協会

担当：石原

tel/fax : 03-3823-7633

mobile : 090-2683-8702

email : [info@filmpres.org](mailto:info@filmpres.org)



市民の力で映画保存を！  
NPO法人映画保存協会の  
《映画の里親》制度

失われた日本映画のフィルムを発掘し、民間の資金で復元・上映する草の根映画保存活動：《映画の里親》制度をご存知でしょうか？

韓国の映画祭では、日本の喜劇王・斎藤寅次郎監督のご子息3名を里親として蘇った映画の里親第一回作品：モダン怪談 100,000,000円 [松竹グラフ版]（1929年 15分）とロケ地である鎌倉市芸術文化財団によって救済された第二回作品：海浜の女王 [松竹グラフ版]（1927年 牛原虚彦監督 15分）もDVD上映されます。

そして《映画の里親》は現在、2008年に予定している第五回作品『黒手組助六』 [マーヴェルグラフ版]（1929年 吉野英治・冬島泰三監督／林長二郎主演 15分）の復元をサポートして下さる里親を募集しています。